

1. R3 芽室町議会活性化計画主要事業

「分かりやすい議会、開かれた議会、行動する議会」を目指して

主要3項目

1 活発な議員間討議による議会政策形成サイクルの良化 評価 B

(議会基本条例 第2条(2)、第3条(3)、第5条(2)、第12条、第13条、第16条)

→ファシリテーション力と対話力向上により政策立案に至るプロセスの強化と見える化を図ります。

2 町民との意見交換会の深化と充実(多様な住民参加の機会づくり) 評価 B

(議会基本条例 第4条(2)、第8条(1・5))

→多様な世代、立場の住民がまちづくりに関わる機会を設けます。

3 外部評価手法を確立する 評価 A

(議会基本条例 第24条)

→議会活動を広く共有するとともに住民による評価から活動の改善を図ります

A=おおむね達成した
 B=達成しているが改善余地あり
 C=達成していない
 D=取り組んでいない

②改善・新規活性化6事項

項 目		内 容	達成時期	
■前年度からの継続事項	R2 結果			
1. 課題の論点整理の実行	新規	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の前後に論点の明確化や合意形成に取り組む機会を設ける。 ・議員研修会、オンラインセミナー、勉強会など多様な手段を活用し、議員力の向上を図る。 	R4年 3月	評価 A
2. 町民意見の協議経過の明確化	B	<ul style="list-style-type: none"> ・町民意見の取り扱いについての検討を重ね、より迅速で丁寧な対応を心がけ、政策につながるよう向上を図ってきたが、成果が表れていないことから政策形成に至る過程を再検討する。 	R4年 3月	評価 B
3. 情報提供と説明の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> ・議会ホームページの充実を図る。 ・SNS を活用した情報発信の検証。 ・議会の「どの情報」を「誰」に提供したいのか、そのために適切な手段は何かを確認し、最適な情報提供のあり方を探る。 	R4年 3月	評価 B
4. 議会モニター制度の充実	B	<ul style="list-style-type: none"> ・会議の多様な参加手法の検討と、Web アンケートなどからモニターの作業負担軽減を図る。 ・持続可能な制度確立のため、モニター制度を検証し、今後のあり方を検討する。 	R4年 3月	評価 B
5. 町民との意見交換会の改善	B	<ul style="list-style-type: none"> ・「議会報告と町民との意見交換会」の目的を再検証し、既存の枠組みだけでなく、多様な世代の声を聞く場など、町民が気軽に参加できる仕組みを検討する。 	R4年 3月	評価 B
6. 外部評価手法の確立	B	<ul style="list-style-type: none"> ・外部知見を活用し、議会活動の評価手法を確立する。 	R4年 3月	評価 A

[R元年度評価] ⇒ R3 新規

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R2年度評価] ⇒ R3 新規

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

[R3年度評価] **概ね達成：完了**

進捗状況	ミーティングを積極的に開催し課題に対する委員間の共通理解、質疑、議員討議という一連の流れが定着した。									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	ミーティングを積極的に開催し課題に対する委員間の共通理解を図った。そのうえで議員間討議を行い、5項目（①意見、対応、客観的視点での精査、課題解決の要素整理、解決策・対応策の確定）について検討し、議会が果たす役割と責務の視点にもとづく手法として整理することで、政策立案に至るプロセスを明確化した。									

[R4年度評価]

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

進捗工程表

達成時期：R4年3月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R3 活性化策2. 町民意見の協議経過の明確化

【現状】

○結論（結果）に至るまでの経過・理由が分からない。

【目指す姿（目標）】

●町民自らの意見が、どのように協議されているのか知ることができる。

【課題・政策】

➤ いつの意見が、いつ議会で協議・調査されているか、住民参加ツールごとに経過を明確にする。

[取組内容]

・意見交換等が出された意見等、議会内での協議経過から政策形成に至る過程を「見える化」する手法を検討・試行する。

[R2] R2年度に実施する住民評価（アンケート）結果から、住民参加ツールの課題を抽出し、ツールごとの改善案を検討する。

[R2] 検討した改善案の試行と次年度の住民参加ツールのあり方検討に繋げる。

[R3] 改善策の試行と検証

[工程詳細]

項目	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
議会だよりの「追跡！一般質問」の継続								→	
「明確化」手法の検討	→	→							
住民評価からの課題抽出			→	→					
課題検討とツールの改善			→	→					
改善策の試行と検証					→	→			

[R元年度評価] ⇒ 未達成：継続

進捗状況	・議会だよりの「追跡！一般質問のその後」は継続したが、別手法・手段の具体的な検討には至らなかった。									
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	・「議会モニター制度の機能拡充」と「町民との意見交換会の改善」に関しては、新たな手法を導入するなど、一定の工夫を行った。 R2年度に実施する住民評価（アンケート）から得られる結果から、より良い手段を検討していく。[達成時期：R3年3月]									

[R2年度評価] ⇒ 概ね達成：継続

進捗状況	・町民アンケートの分析から、「読みたくなる議会だより」への改善点をまとめ、次年度からの「議会だより」改善へ繋げた。									
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	・「読みたくなる議会だより」への改善については、今回のまとめで「将来展望」とした事項について、今後も継続して検討を要する。 ・一方で、町民団体主催のイベントへの参加など、議会として町民に直接「見せる」機会の創出、あり方についても別途検討が必要である。									

[R3年度評価] 概ね達成：完了

進捗状況	毎月編集会議を開催し、各常任委員会ページは議員が担当し執筆することとした。									
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	「議会だより」は、編集企画会議を開催し、毎月の企画内容、委員会ページなどを検討。芽室高校新聞局の意見も反映させ、できることから取り組んできた。町民からも「読みやすくなった」という意見をいただいております、R3の取り組みを継続することで「読みたくなる議会だより」への改善は完了とする。									

[R4年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

進捗工程表

達成時期：R4年3月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R3 活性化策3. 情報提供と説明の充実

【現状】

- 町の予算のサイクル等が町民に分かりづらい
- 議会活動に対する町民の認識度が低い

【目指す姿(目標)】

- 町民の視野を広げより深い議論ができる
- 議会の基本を知ってもらい、議会と交流できる

【課題・政策】

- 議会活動・情報をよりの確・効果的に町民へ提供するための手法・手段の工夫・改善

[取組内容]

- ①「6. 外部評価手法の確立」と連動し、評価を通じて議会活動の情報公開と住民との共有を行う。
- ②「5. 町民との意見交換会の改善」と連動し、多様な住民参加の促進を通じて議会活動の情報公開と住民との共有を行う。
 - ・ [R2]住民アンケート結果をもとに、具体的な情報提供手法・手段の検討を行う。
 - ・ [R3] SNS による情報発信の検証と見直し。

[工程詳細]

項目	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
外部評価手法の検討	→								
町民との意見交換会の改善検討	→								
効果的な情報提供手法・手段の検討	→		→						
SNS による情報発信の検証と見直し						→			

[R元年度評価] ⇒ 未達成：継続

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価手法（無作為抽出・アンケート）の実施に向けた検討、PTAとの意見交換の意見に対する回答・報告方法の改善検討、意見に対する常任委員会内での対応協議を行い、年度内にまとめて各PTAに回答を送付した。 ・情報提供手法・手段に絞り込んだ詳細な議論には至らなかった。 ・町民活動支援センターまつりにおいて議会活動紹介をする予定であったが、新型コロナウイルス感染防止の観点から中止となった。 									
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	今後、実施する住民アンケート結果をもとに、情報提供手法・手段の具体的な検討を行う。[達成時期：R3年3月]									

[R2年度評価] ⇒ 概ね達成：継続

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町民への情報提供を兼ねた「無作為抽出による住民アンケート」を実施し、一定の回答を得た（回答率：27.85%）。 ・「読みたくなる議会だより」への改善点をまとめ、次年度からの「議会だより」改善・工夫へ繋げた。 									
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの分析から、議会だよりの認識率が高く、一方で読まれてない点が明確になったことから、町民への情報提供手段としては「議会だよりが最も有効である」との視点から、「読みたくなる議会だより」への改善に向けた検討を行った。 ・後は町民の視野を広げさらに深い議論ができるような発展に向け、研究が必要である。 									

[R3年度評価] 目標達成：完了

進捗状況	第1回モニター会議テーマを「SNSを活用した議会情報の効果と課題」とし検証し、現行SNSの活用を総括した									
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	「SNSを活用した議会情報の効果と課題」をテーマに第1回モニター会議を開催し、モニターの意見・提案を踏まえて、現行の議会SNS活用について総括した。議会活動・情報をよりの確・効果的に町民に提供する手法・手段として、議会SNSの位置付け、新たなSNS導入の検討項目を明確にした。									

[R4年度評価]

進捗状況										
達成評価	A目標達成	B概ね達成	C未達成	D未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

進捗工程表

達成時期：R4年3月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R3活性化策4. 議会モニター制度の充実

【現状】

- モニター候補者の固定化
- モニター意見の議会内での議論経過が見えない

【目指す姿(目標)】

- 町民の議会に対する理解が広がる
- モニター自身がより課題意識を持って主体的・積極的に会議に参加する

【課題・政策】

- 潜在的な関心層を掘り起こす
- 会議に主体的に臨めるような手法の改善

【取組内容】

- ①モニター公募方法の改善（無作為抽出など）を検討し、試行する。
 - ②モニター会議の開催手法（テーマ設定、ファシリテータの設置等）の改善を検討する。
- [R2]R1年度のモニター会議結果及び無作為抽出による公募状況から、改善内容の振り返り（検証）を行う。
[R2]R1年度検証結果から、R2・R3年度モニター制度のあり方を再検討する。（イレギュラー対応含む）
[R3] 会議の多様な参加手法の検討と Web アンケートの実施
[R3]要綱の検証と見直し

【工程詳細】

項目	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
無作為抽出を含むモニター選考のあり方を検討			→						
モニター会議のテーマ設定・会議手法の検討			→						
R1 実施結果の検証（会議・無作為抽出）			→						
R2 会議運営の改善検討			→	→					
R3 モニター負担軽減策の検討					→	→			
R3 要綱の検証と見直し							→		

[R元年度評価] ⇒ 概ね達成：継続

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・住民アンケートの実施に向けた検討の中で、併せて、議会に関心を持つ人に「モニター候補」として手を挙げてもらうための「無策抽出」によるモニター選考方法を検討し、実施準備を行った。 ・第1回モニター会議で出された意見を分類し、その中から第2回会議テーマとするもの数点を抽出。第2回会議では、モニター自身が関心のある事項を議論のテーマとして開催した。 									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・R2年度実施予定の第3回会議では、第2回会議で議論テーマとして事項に対する委員会の調査経過・結果を報告する。報告後の会議進行のあり方は、4月以降検討する。 ・次年度の会議進行、テーマのあり方などは、モニターの意見を参考として改善に繋げていく。[達成時期：R2年6月] 									

[R2年度評価] ⇒ 概ね達成：継続

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・町民無作為抽出から2人のモニターが得られた。またコロナ禍の中で、オンラインによるモニター会議を開催できたことで、開催手法の改善、拡大は一定の目標達成ができた。 									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた環境の中で、開催手法を工夫してモニター会議を開催できたことは一定の評価に値する。 ・一方で、モニター公募の改善は依然として課題があり、継続して検討を要する。 									

[R3年度評価] 概ね達成：完了

進捗状況	議会モニターの役割を確認するため要綱を点検するとともに、モニター意見の「見える化」に取り組んだ。									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	活性化6事項や議長諮問をモニター会議のテーマに設定した。「どのような点についてモニター意見をもらうのか」を明確にした上でモニター会議に臨むことで、モニター意見の「見える化」を図り、総括を作成する仕組みを作ることができた。									

進捗工程表

達成時期：R4年3月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R3 活性化策5. 町民との意見交換会の改善

【現状】

- 意見交換を通じて、町民の真の課題を引き出せていない。
- 意見交換グループ内の情報共有ができていない

【目指す姿(目標)】

- 町民意見の背景・理由を掘り起こす対話ができる。

【課題・政策】

- 会議のメンバー、テーマ等に適した会議形式を採用し実施する
- 会議進行手法の改善する

[取組内容]

- ・ 真の情報共有を進め住民参加を促進することを目的として、これまで実施してきた住民参加手法の検証と新たな手法の検討を行う。
- (※7. 外部評価手法の確立と連動し、住民評価の結果を参考として実施する。)
- ・ [R2] R2年度に実施する住民評価（アンケート）結果から、町民との意見交換の課題を抽出し、改善点を検討する。
- ・ [R2] これまでの意見交換以外の新たな手法の検討を行う。
- ・ [R3] 意見交換会の目的の見直しと新たな手法の検討

[工程詳細]

項目	R元年度		R2年度		R3年度		R4年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
住民参加ツールの実施にあたっての課題検討		→							
住民参加ツールの課題改善手法の検討		→							
住民評価からの課題抽出			→						
既存意見交換の改善検討						→			
新たな手法の検討						→			

[R元年度評価] ⇒ 未達成：継続

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・PTAとの意見交換の実施にあたり、意見集約、課題抽出から常任委員会での議論へ繋げ、意見に対する回答としてまとめた。 ・第1回モニター会議で出された意見を分類し、その中から第2回会議テーマとするもの数点を抽出。第2回会議では、モニター自身が関心のある事項を議論のテーマとして開催した。 									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・町民意見の背景にある課題を細分化し、課題のポイントを明確化していく。 ・R2年度は、住民評価の結果から、より良い意見交換の姿、あり方を協議していく。[達成時期：R3年3月] 									

[R2年度評価] ⇒ 概ね達成：継続

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中にあって、オンライン及び対面による意見交換、また書面・ネットフォームを活用した意見聴取など、幅広い手法をもって町民と意見を交わし、意見を得ることができた。 									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度はアイデアを絞りながら、多様な手法を用いて意見交換を進められたことは、今後の「平時」における意見交換開催手法としても活用のめどが立った。 ・一方で、目指す姿である「町民意見の背景・理由を掘り起こす対話ができる」という点は、別の視点での改善に向けた検討が必要。 									

[R3年度評価] ⇒ 概ね達成：完了

進捗状況	意見交換会でいただく町民意見を今後の参考にとどめず、次年度の具体的な取り組みにつなげた。									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	意見交換会でいただいた意見については、分類・精査し、議会が果たす役割と責務の視点に置き換えて整理した。政策形成サイクルを意識し、整理した結果を次年度常任委員会の政策課題として取り組むべき事項とした。									

[R4年度評価]

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										

進捗工程表

達成時期：R4 年 3 月

所管委員会：議会運営委員会

施策（事業）名：R3 活性化策 6. 外部評価手法の確立

【現状】

○議会活動評価が議員自己評価にとどまってお
り適正かつ公正な評価となっているのか

【目指す姿(目標)】

●議会基本条例の基本理念に則った議会活動
を継続する

【課題・政策】

➤ 客観的（第三者）評価手法を確立する

[取組内容]

- ・住民から見える「議会活動の評価」手法を確立し、今年度の議会活動実績評価からの試行を目指す。
- ・[R2] アンケート方式の住民評価の実施・集約・分析から議会活動へ反映
- ・[R2] 「議会基本条例に基づく議会活動について」の客観的評価手法を検討し、令和 3 年度での試行に繋げる。
- ・[R3] 新たな評価手法の検証と必要に応じて仕組みの見直しを実施する。

[工程詳細]

項目	R元年度		R 2 年度		R 3 年度		R 4 年度		備考
	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
住民評価手法の検討	→								
評価（アンケート）実施・集計・分析			→						
議会基本条例に基づく議会活動の評価手法の検討			→						
新たな評価の試行・実施と仕組みの検証・見直し							→		

[R元年度評価] ⇒ 概ね達成：継続

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 住民評価の検討の中で、2つのパターンを提案してきた。その中で、今年度は「議会の活動全般に関する認識度を高める」「議会に関心を持つ町民層を増やす」の2点を目的に、「アンケート方式」の評価手法について中心的に検討した。 結果として、町民700人を対象とした無作為抽出によるアンケートを、4月から5月にかけて実施し、アンケート結果は、次年度の議会活性化計画の議論に反映する。 									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	<ul style="list-style-type: none"> 評価議論の中で「議会基本条例に基づく議会活動について」の客観的評価手法については、引き続き、次年度において検討することとした。 [達成時期：R3年3月] 									

[R2年度評価] ⇒ 概ね達成：継続

進捗状況	<ul style="list-style-type: none"> 町民対象とした「無作為抽出アンケート」は一定の回答を得て、その後の分析に繋げることができ、所期の目的は達成した。 専門的知見を活用した外部評価については、一定程度の検討と準備はすすめてきたが、予定通りに進まなかった。 									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	<ul style="list-style-type: none"> 町民対象としたアンケートは、今後は必要な時期に実施していくこととし、毎年の必須とはしないこととした(9/24議運決定) 専門的知見を活用した外部評価の仕組みは、議会サポーターの協力を得ながら、次年度で制度設計を行っていく。[達成時期：R4年4月(制度設計・模擬評価・制度改善まで)] 									

[R3年度評価] ⇒ 目標達成：完了

進捗状況	北大HOPSによる研究成果や山崎サポーターのアドバイスをもとに、議会活動の外部評価制度を設計した。									
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考	議会の外部評価手法を検討するにあたり、各事業の目的、目標を明確に設定することを点検する。そのうえで、対象者、評価指標の考え方を整理した。令和4年度から試行的に外部評価を実施する。									

[R4年度評価]

進捗状況										
達成評価	A 目標達成	B 概ね達成	C 未達成	D 未着手	進行管理	完了	継続	見直し	取止め・廃止	その他
備考										